

新刊 紹介

book



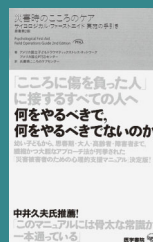
review



《看護ワンテマ BOOK》 説明できるエンゼルケア 40の声かけ・説明例

小林光恵 著
定価 1890 円 (本体 1800 円 + 税 5%)
医学書院 TEL.03-3817-5657

ケアの最後を締めくくるエンゼルケアは、そのやり方も、それをどう説明するかも、時代とともに変わってきた。「なぜやるのか、なぜやらないのか」をあなたは説明できますか？ 病棟スタッフに薦めたい、遺された人々と看護師自身を助ける「声かけ」と「振る舞い」のお手本帖。



災害時のこころのケア サイコロジカル・ファーストエイド 実施の手引き 原書第 2 版

アメリカ国立子どもトラウマティックストレス・ネットワーク／アメリカ国立 PTSD センター 著
兵庫県こころのケアセンター 訳
定価 1260 円 (本体 1200 円 + 税 5%)
医学書院 TEL.03-3817-5657

分野横断的な包括性、会話例を多用した具体性においてきわめて評価が高いだけでなく、「害を与えないこと」を第一義に、生活援助へと大きく軸足を移した点で画期的な心理的支援マニュアル。「何をすべきで何をすべきでないのか」、繊細かつ大胆なアプローチ法を示した。



がん看護へのことづて

武田悦子 著
定価 1260 円 (本体 1200 円 + 税 5%)
すびか書房 TEL.048-464-8336

乳がんを発症した元看護師・看護教員である筆者の遺作。闘病生活の実際を示したメモやインタビューに残された、患者として感じる医療のあり方の矛盾、看護師に求めること、看護される身として「安楽」について感じることなど、がん看護がどうあるべきかを考えさせる 1 冊。



死に向きあって生きる ホスピスと出会い 看護につとめた日々

季羽倭文子 著
定価 1680 円 (本体 1600 円 + 税 5%)
講談社 TEL.03-5395-3622

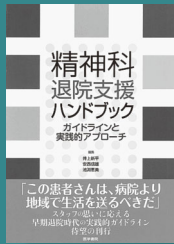
日本の訪問看護の礎を築いた筆者が、看護師として多くの死を看取りながら、死を迎えるまでの患者の日々をよりよいものとするために行なってきた活動をまとめた 1 冊。イギリス留学の学びから、日本の訪問看護、ホスピス・緩和ケア病棟のあり方について問いかける。



延命医療と臨床現場 人工呼吸器の胃ろうの医療倫理学

会田薫子 著
定価 5040 円 (本体 4800 円 + 税 5%)
東京大学出版会 TEL.03-3811-8814

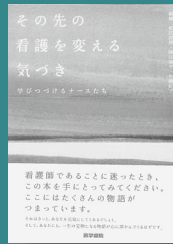
欧米の先行研究を含め、多数の調査知見を紹介。日本で延命医療を問題化している 2 大トピックスである人工呼吸器と胃ろうに焦点を当て、延命医療に関する問題とその問題の原因となっている要因群、その性質を探る。臨床現場にあった解決策を考えるために。



▶ **精神科退院支援
ハンドブック**
ガイドラインと実践的アプローチ

井上新平／安西信雄／池淵恵美 編
定価 3990 円 (本体 3800 円＋税 5%)
医学書院 TEL.03-3817-5657

厚労研究委託費による班研究の成果を受けて作成された、本邦初の退院支援ガイドラインと、それにもとづく退院支援の実践を紹介する。取り組みのノウハウを詳細に解説し、施設でも明日から取り入れられる具体的なヒントを豊富に提示。すべての精神保健医療福祉関係者必携の書。



▶ **その先の看護を
変える気づき**
学びつづけるナースたち

柳田邦男／陣田泰子／佐藤紀子 編
定価 1890 円 (本体 1800 円＋税 5%)
医学書院 TEL.03-3817-5657

「気づきの力」を養うこと、体験を「概念化」すること、「暗黙知」を「形式知」に変えることは、その先の看護を変えることにつながる。本書では、自分の看護実践を客観的に見つめることで、核となったものに気づく過程を講評し、意味づけした。看護実践の意味を自覚する重要性を示す 1 冊。



▶ **わたしがもういちど
看護師長をするなら**

坂本すが 著
定価 1575 円 (本体 1500 円＋税 5%)
医学書院 TEL.03-3817-5657

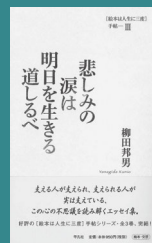
組織マネジメント、人材マネジメント、タイムマネジメントとリスクマネジメントなどの問題をどのように解決してきたのか、そして看護師を取り巻く情勢がめまぐるしく変化するなか、看護管理者には何が求められているのか。著者自身の経験から得た、実践的看護管理論を示した。



▶ **共震ドクター**
阪神、そして東北

長尾和宏／熊田梨絵 著
定価 1470 円 (本体 1400 円＋税 5%)
ロハス・メディカル TEL.03-5771-0073

東日本大震災から 49 日後、医師として被災地入りした筆者が現地で見聞きしたことを記述。阪神・淡路大震災の経験を交えながら、被災地で「直ちにすべきこと」「してはいけないこと」についての考えを示す。「これからの日本のために」どうすべきか問う。



▶ **悲しみの涙は
明日を生きる道しるべ**
〔絵本は人生に三度〕手帖 - III

柳田邦男 著
定価 997 円 (本体 950 円＋税 5%)
平凡社 TEL.03-3818-0874

〔絵本は人生に三度〕手帖シリーズ最終巻。語りかけるようなやわらかい文章で書かれた絵本エッセイが、今の時代を生きる人々への「大人の潤いた心に潤いを取り戻すことが、子どもたちののびやかな成長につながる」(あとがきより) というメッセージを伝える。本誌好評連載を収載。



▶ **看護師の仕事に
つきたい!**
命を救う看護のプロフェッショナル

坂本すが 著
定価 1260 円 (本体 1200 円＋税 5%)
中経出版 TEL.03-3262-0371

「看護師とは何か」。本書に示された筆者のキャリアの振り返りは、中学・高校生向けに書かれた職業紹介書でありながら、看護の哲学、行動の裏にある意味について考えさせる内容となっている。進路を決めようとしている高校生への看護への誘いの書に活用したい。